

『テキスタイルカレッジ 繊維製品のリサイクル』

テキスタイルカレッジに新コースとして、「繊維製品のリサイクル」コースがスタートします。繊維製品の製造、開発においては、機能の追及のみならず製品の環境負荷を低減する必要性が増しています。本カレッジでは、特に繊維製品のリサイクルに焦点を当てて、リサイクルシステムの現状と課題について言及するとともに、リサイクルを取り巻く法律の現状や繊維製品の環境負荷評価方法などについて講義します。多数の方々のご参加をお待ちします。

【日 時】平成 23 年 1 月 21 日（金）10.30～16.15

【会 場】大阪科学技術センター

（大阪市西区靱本町 1-8-4、地下鉄四つ橋線「本町」下車、北へ 5 分）

【講 義】

- （1）循環型社会における繊維リサイクル（10.30～11.15） 京都工芸繊維大学 木村 照夫
ー現在、我が国のおかれている環境問題の中で、繊維製品リサイクルの必要性和マテリアルリサイクル事例について概説する。ー
- （2）故繊維業界のリサイクルシステム（11:15～12.00） （株）ツインテック 中西 幸司
ー繊維製品リサイクルの殆どは故繊維業界の手に委ねられている。そこで故繊維業界の現状と課題を述べるとともに、効率的なリサイクルを進めるためには故繊維業界と消費者とがどのようなネットワークを構築すべきか概説するー
- （3）繊維製品リサイクルに関する法律（13:00～13.45） 東レ（株） 大橋 庸二
ー繊維製品をリサイクルするためには多くの法律を遵守しなければならない。現在、どのような法律があり、どのような問題点があるのか、さらにはリサイクル推進のための法律は如何にあるべきかを概説する。ー
- （4）繊維製品のケミカルリサイクル（13.45～14.30） 帝人ファイバー（株） 池田裕一郎
ー合成繊維の理想的なリサイクルは繊維から繊維へのリサイクルである。その技術手段としてのケミカルリサイクルの現状と将来像を概説する。ー

(5) 繊維製品の固形燃料化 (14. 45~15. 30)

京都市産業技術研究所 八田 誠治

—繊維製品を単に燃やすだけでなく燃料として利用する動きが活発化しているが、固形燃料化の現状と将来像を概説する。—

(6) 繊維製品リサイクルの環境負荷評価 (15. 30~16. 15)

(株) チクマ 前田 良治

—繊維製品をリサイクルすることによって環境負荷が大きくなってはいけない。また、繊維製品を製造する上においても環境負荷の低減が必要不可欠である。ここでは、繊維製品の環境負荷評価手法について概説する。—

※都合により講師ならびに講義の順序が変更される場合がありますので、あらかじめご了承下さい。

【参加費】 会員 15,000 円, 協賛学協会員 15,000 円, 非会員 20,000 円

学生会員 2,000 円, 学生非会員 5,000 円 (いずれもテキスト代、消費税を含む)

【主 催】 日本繊維機械学会

【協 賛】 日本 LCA 学会, 日本化学繊維協会, 廃棄物資源循環学会, プラスチック成形加工学会, 大阪染色協会

【申 込】 別紙申込書またはテキストカレッジ「繊維製品のリサイクル」と明記し, ①氏名, ②所属, ③所在地, ④連絡先 (電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ⑤会員種別を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申込ください。

(社) 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4、大阪科学技術センタービル 6F

TEL : 06-6443-4691, FAX : 06-6443-4694, E-mail : i-love-tmsj@nifty.com

【交通アクセス】 大阪府大阪市西区靱本町 1-8-4、大阪科学技術センタービル

■大阪方面よりお越しの場合

▶ 地下鉄四つ橋線「本町」駅下車 28番出口より北へ徒歩3分

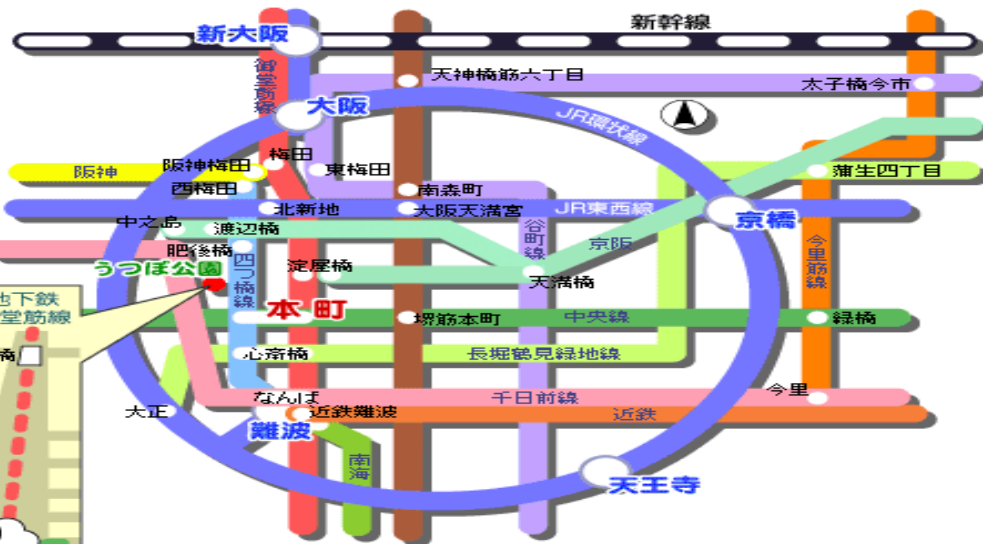
■新大阪方面よりお越しの場合

▶ 地下鉄御堂筋線「本町」駅下車 2番出口より西へ徒歩7分

■なんば方面よりお越しの場合

▶ 地下鉄四つ橋線「本町」駅下車 28番出口より北へ徒歩3分

▶ 地下鉄御堂筋線「本町」駅下車 2番出口より西へ徒歩7分



(社) 日本繊維機械学会

FAX : 0 6 - 6 4 4 3 - 4 6 9 4

E-mail : i-love-tmsj@nifty.com

テキスタイルカレッジ

「繊維製品のリサイクル」申込書

氏 名 : _____

勤務先 : _____

所属部課名 : _____

所在地 : 〒 _____

連絡先 TEL : _____ FAX : _____

会員種別 : _____

連絡事項 :

今後、本学会からの開催行事案内メール配信を

_____ 希望する ・ 希望しない _____

希望するを選ばれた場合メールアドレスを記載下さい

E-mail: _____